



Business Report

第150期報告書

平成25年4月1日から
平成26年3月31日まで

おかげさまで、名鉄120年

120

名古屋鉄道株式会社

ごあいさつ

平素は、格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

第150期の報告書をお届けするにあたり、一言ご挨拶申し上げます。

当連結会計年度におけるわが国経済は、円安による輸入品・材料費等の高騰が懸念されたものの、輸出関連企業を中心とした企業業績の好転や、個人消費の持ち直しの動きが見られたほか、消費税率の引上げを控えた駆け込み需要もあり、全体的な基調として景気は緩やかに回復しました。

このような状況のもと、当社グループでは、各事業部門において積極的な営業活動と経営の合理化に努めました結果、営業収益は前期に比べ2.9%増の6,277億9千7百万円となりました。営業利益は14.7%増の370億7千7百万円、経常利益は18.6%増の341億8千6百万円となり、当期純利益は17.1%増の149億3百万円となりました。また、当社個別の営業収益は前期に比べ4.0%増の1,037億8千万円となりました。営業利益は2.9%増の129億8百万円、経常利益は18.4%増の146億9千3百万円となり、当期純利益は29.0%増の77億8千5百万円となりました。

以上の業績及び経営基盤強化に必要な内部留保を勘案し、期末配当につきましては、前期に比べ1円増額し、1株につき4円（中間配当を見送りましたので年4円配当）とさせていただきます。従前の配当額を回復するには至っておりませんが、ご了承賜りますようお願い申し上げます。

当社グループでは、平成24年度からの3ヵ年に亘る「名鉄グループ中期経営計画～PLAN120～」を策定しています。平成26年度はその最終年度となり、この計画に沿った種々の取組みを着実に推し進め、目標達成に向けグループを挙げて邁進する所存でございます。

当社は本年、株主の皆さまにも支えられ創業120周年を迎えることができました。今後も永く社会に貢献し、地域から愛される企業集団として存続するべく、更なる業績の向上に全力を傾注してまいりますので、何卒変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役社長
山本 亜土

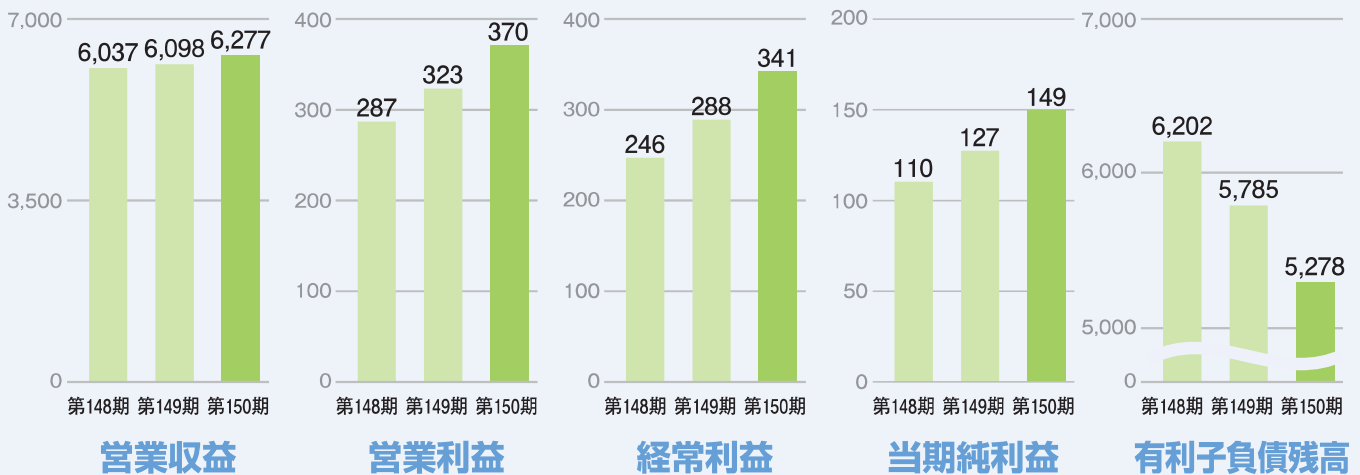
平成26年6月

平成26年3月期 連結決算の概要

消費税率引上げを控えた駆け込み需要や、諸経費の削減に努めたことにより、増収・増益となりました。

主要連結経営指標の推移

(注) 記載金額は、億円未満を切り捨てて表示しております。(単位：億円)



平成27年3月期の見通し

平成27年3月期 連結業績予想

政府の経済政策や日銀の金融緩和の効果等を背景に、景気の更なる回復が期待される一方で、消費税率引上げに伴う消費の減速懸念等、先行きには不透明感の残る状況にあります。

以上を踏まえ、平成27年3月期の連結業績予想については、営業収益は6,070億円（前期比3.3%減）、営業利益は312億円（前期比15.9%減）、経常利益は291億円（前期比14.9%減）、当期純利益は156億円（前期比4.7%増）としております。また、平成27年3月期末の連結有利子負債残高については、4,980億円（前期比298億3千6百万円減）を見込んでおります。

営業収益 6,070億円 前期比 3.3%減

営業利益 312億円 前期比 15.9%減

経常利益 291億円 前期比 14.9%減

当期純利益 156億円 前期比 4.7%増

配当見通し

平成27年3月期の配当については、期末配当として1株につき4円50銭を予想いたしております。

※上記の予想は、当社が現在入手可能な情報に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。

名鉄グループの事業概況



交通事業

営業収益	1,590億9百万円	(前期比 1.4%増)
営業利益	134億81百万円	(前期比 4.4%減)

鉄軌道事業では、当社は通勤型車両4000系16両を新たに導入したほか、高架橋柱などの耐震補強工事や、都市計画事業の一環として高架化工事を進めるなど、安全面の強化に努めました。営業施策面では、名鉄名古屋駅構内において、東海圏では最大規模となる大型モニターによるデジタルサイネージ（電子看板）を活用した広告展開を昨年10月から始めたほか、常滑線全線開通100周年などの記念イベントの開催や、沿線地域と連携した各種企画乗車券の販売など、旅客の需要喚起に努めました。事業全体では、輸送人員が増加したこともあり、増収となりました。

バス事業では、名鉄バス(株)は、路線バスの「愛知淑徳大学線」を昨年4月に、高速バスの「名古屋一宇都宮・郡山線」の運行を昨年7月に開始して新規顧客の獲得に努めたほか、全車両のドライブレコーダーとデジタルタコグラフを一体型の次世代型安全対策機器に順次更新するなど、安全管理の強化にも取り組みました。事業全体では、高速バス事業が好調に推移したこともあり、増収となりました。

タクシー事業では、スマートフォンアプリケーションの簡単な操作によってタクシーが手配できる「全国タクシー配車」サービスの導入拡大を進めるなど、利便性向上に努めました。しかしながら、事業全体では、乗務員不足の影響などにより、減収となりました。

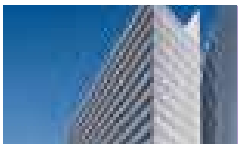


運送事業

営業収益	1,353億59百万円	(前期比 1.3%増)
営業利益	36億15百万円	(前期比 0.4%減)

トラック事業では、輸送契約更改による運賃の見直しや、業務・輸送システムの再構築に向けた諸施策を推進し、収益性の向上を図りました。事業全体では、貨物取扱量が増加したこともあり、増収となりました。

海運事業では、太平洋フェリー(株)は、昨年4月に開設40周年を迎えた北海道航路（名古屋－仙台－苫小牧）で、「就航40周年キャンペーン」を展開し、旅客の利用促進を図りました。事業全体では、貨物輸送が好調に推移したこともあり、増収となりました。



不動産事業

営業収益	964億92百万円	(前期比 3.4%増)
営業利益	108億2百万円	(前期比 24.2%増)

不動産賃貸業では、当社は「名古屋クロスコートタワー」のほか、リニューアル工事を進めてテナントを誘致した「名鉄バスターミナルビル」の賃貸収入が通期で寄与したほか、「名古屋ルーセントタワー」などのオフィスビルも高い稼働率を維持しました。また、名鉄協商(株)の駐車場収入が好調に推移したこともあり、事業全体では増収となりました。

不動産分譲業では、当社は愛知県知多郡阿久比町の分譲団地「名鉄陽なたの丘 蒼空（そら）の街」の販売が好調に推移しました。また、名鉄不動産(株)において、分譲マンションの引渡戸数が増加したこともあり、事業全体では増収となりました。



レジャー・サービス事業

営業収益	558億4百万円 (前期比 3.7%増)
営業利益	16億45百万円 (前期比 51.4%増)

ホテル業では、(株)名鉄トヨタホテルは、昨年9月に7階宴会場フロアをリニューアルオープンし、新規顧客の獲得に努めたほか、名鉄イン(株)は、インターネットを利用した積極的な営業活動を行うなど、客室稼働率の向上に努めました。事業全体では、宿泊人員の増加などもあり、増収となりました。

観光施設の経営では、(株)名鉄インプレスは、昨年3月に「野外民族博物館リトルワールド」に新規オープンした「トルコ イスタンブールの街」が好評を博し、入場者数が増加しました。また、(株)夫婦岩パラダイスにおいて、伊勢神宮の式年遷宮効果により「二見プラザ」の利用者数が増加したこともあり、事業全体では増収となりました。

旅行業では、海外旅行において、中国・韓国へのツアーの冷え込みが依然として続くなど、厳しい状況で推移したものの、国内旅行において、首都圏への旅行や伊勢神宮ツアーが好調に推移したこともあり、事業全体では増収となりました。



流通事業

営業収益	1,499億97百万円 (前期比 5.3%増)
営業利益	21億44百万円 (前期比 39.0%増)

百貨店業では、(株)名鉄百貨店は、本年2月から3月にかけて、本店の化粧品や婦人服ブランドを多数入れ替えたほか、地下食品売場の一部リニューアルや、本館1階へのコーヒーストア誘致を実施するなど、集客力の向上に努めました。事業全体では、消費税率の引上げを控えた駆け込み需要もあり、増収となりました。

その他物品販売では、(株)名鉄アオト・(株)ケイビーエスオートの輸入車販売において、新車・中古車ともに販売台数が増加しました。



その他の事業

営業収益	761億47百万円 (前期比 5.9%増)
営業利益	39億76百万円 (前期比 42.3%増)

その他の事業では、中日本航空(株)は、調査測量事業の受注が増加したほか、(株)メイテツコムは、システム開発案件が好調に推移しました。また、当社は、本年3月に名鉄グループのカード戦略の核となるクレジットカード「MEITETSU μ's Card (名鉄ミューズカード)」を導入しました。

名鉄創業120周年事業を実施!

おかげさまで、名鉄120年



当社では、本年6月に創業120周年を迎えるにあたり、お客さまや地域の方々など、すべてのステークホルダーの皆さまに感謝をお伝えし、名鉄グループが今後目指す姿をアピールするため、現在、創業120周年事業に取り組んでいます。記念イベントの開催や記念商品の企画・販売を行うほか、本年6月からの鉄道現場の制服更新や、平成27年3月に開村50周年を迎える博物館明治村とタイアップした記念事業の開催など、企業イメージの向上も目指しています。

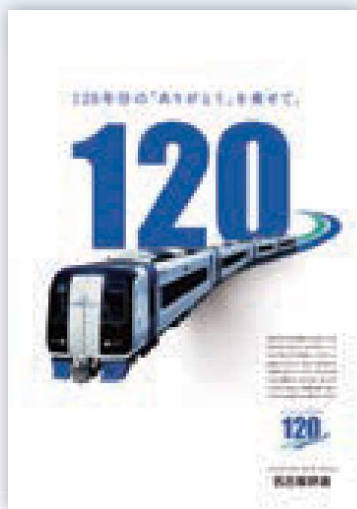
冬服

夏服

New
新制服
Uniform



「安全」・「安心」・「信頼」をコンセプトにデザインされた新制服



主要駅・車内に記念ポスターを掲出

博物館明治村開村50周年記念事業

その他、開村50周年に向け
さまざまな事業を検討しています

平成26年
4月



西園寺公望別邸「坐漁荘」の大規模補修工事を行い、2年ぶりに一般公開を再開

平成26年
6月



明治40年まで名古屋市内で市電車両として使用していた「名電1号形」を展示

平成27年
3月



開村50周年に合わせ、運休中の「SL9号」の復活運転を予定

開村
50周年

「MEITETSU μ 's Card」デビュー!

ミュージスカード



当社では、本年3月に名鉄グループクレジットカード「MEITETSU μ 's Card」を導入しました。同カードは、ショッピング利用によって、ICカードmanacaと共通の「 μ starポイント」が付与される点を最大の特長としています。今後は、名鉄沿線を生活基盤にする方々にとって最も利便性の高いカードを目指すとともに、グループ全体におけるポイントの活用や相互送客につなげるビジネスモデルの確立など、新たなグループ戦略の基盤としていきます。

MEITETSU μ 's Cardの魅力



「ジョイント登録」することで、manacaと共通の「 μ starポイント」がたまります。

ほかにもこんな魅力が…

- 名鉄電車・バス、豊橋鉄道などの定期券のほか、名古屋市営地下鉄・JR東海・あおなみ線などとの連絡定期券が購入できる!
- クレジット決済でmanacaにチャージができる!
- 全国のお店や施設などで優待が受けられる「 μ 's Club Off」を搭載!

ホームページをリニューアル!



当社では、お客さまサービスの向上のため、本年3月にホームページのリニューアルを実施しました。トップページをシンプルにしたほか、沿線のおでかけ情報の検索機能や、中国語・韓国語等のサイトを新設するなど、名鉄グループの情報提供の強化を図っています。

- リニューアルに伴い、URLが <http://top.meitetsu.co.jp/> に変更になりました。

平成26年3月期 連結決算の要旨

■ 連結貸借対照表の要旨

(平成26年3月31日現在)

(単位：百万円)

■ 連結損益計算書の要旨

(平成25年4月1日から平成26年3月31日まで)

(単位：百万円)

科 目	金 額	科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)		営業収益	627,797
流動資産	159,743	流動負債	302,031	営業費	590,719
現金及び預金	14,395	支払手形及び買掛金	73,752	営業利益	37,077
受取手形及び売掛金	56,724	短期借入金	118,785	営業外収益	5,261
分譲土地建物	50,366	1年以内償還社債	17,556	営業外費用	8,153
その他のたな卸資産	12,091	その他	91,937	経常利益	34,186
その他	26,165	固定負債	501,095	特別利益	41,288
固定資産	894,935	社債	115,000	特別損失	49,557
有形固定資産	777,353	長期借入金	248,676	税金等調整前当期純利益	25,917
建物及び構築物	316,097	再評価に係る繰延税金負債	63,591	法人税、住民税及び事業税	7,343
土地	364,383	退職給付に係る負債	34,431	法人税等調整額	2,538
その他	96,872	その他	39,395	少数株主損益調整前当期純利益	16,035
無形固定資産	9,217	負債合計	803,127	少数株主利益	1,131
投資その他の資産	108,364	(純資産の部)		当期純利益	14,903
投資有価証券	83,048	株主資本	157,502		
繰延税金資産	10,905	資本金	85,135		
その他	14,411	資本剰余金	19,378		
		利益剰余金	53,096		
		自己株式	△ 108		
		その他の包括利益累計額	76,238		
		その他有価証券評価差額金	12,844		
		繰延ヘッジ損益	2		
		土地再評価差額金	67,159		
		為替換算調整勘定	△ 28		
		退職給付に係る調整累計額	△ 3,739		
		少数株主持分	17,810		
		純資産合計	251,551		
資産合計	1,054,679	負債純資産合計	1,054,679		

■ 連結キャッシュ・フロー計算書の要旨

(平成25年4月1日から平成26年3月31日まで)

(単位：百万円)

科 目	金 額
営業活動によるキャッシュ・フロー	82,274
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 25,575
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 53,030
現金及び現金同等物に係る換算差額	20
現金及び現金同等物の増加額	3,688
現金及び現金同等物の期首残高	9,710
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	4
現金及び現金同等物の期末残高	13,404

■ 連結株主資本等変動計算書の要旨

(平成25年4月1日から平成26年3月31日まで)

(単位：百万円)

	株主資本					その他の包括利益累計額							少数株主 持分	純資産 合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己 株式	株主 資本 合計	その他 有価証券 評価差額金	繰延 ヘッジ 損益	土地 再評価 差額金	為替換 算調整 勘定	退職給 付に係 る調整 累計額	その他 の包括 利益累 計額合 計			
当期首残高	84,185	18,428	43,394	△ 756	145,251	9,387	10	63,139	△ 52	—	72,485	17,852	235,589	
当期変動額														
新株の発行	950	950			1,900								1,900	
剰余金の配当			△ 2,637		△ 2,637								△ 2,637	
当期純利益			14,903		14,903								14,903	
自己株式の取得				△ 46	△ 46								△ 46	
自己株式の処分		△ 154		695	540								540	
土地再評価差額金の取崩			△ 2,409		△ 2,409								△ 2,409	
その他の変動額		154	△ 154	△ 0	△ 0								△ 0	
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)						3,456	△ 8	4,019	24	△ 3,739	3,753	△ 42	3,710	
当期変動額合計	950	950	9,701	648	12,250	3,456	△ 8	4,019	24	△ 3,739	3,753	△ 42	15,961	
当期末残高	85,135	19,378	53,096	△ 108	157,502	12,844	2	67,159	△ 28	△ 3,739	76,238	17,810	251,551	

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

平成26年3月期 個別決算の要旨

貸借対照表の要旨

(平成26年3月31日現在)

(単位：百万円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
流動資産	24,105	流動負債	134,075
現金及び預金	4,417	短期借入金	60,419
未収金	3,130	1年以内償還社債	17,556
分譲土地建物	8,556	未払金	14,879
その他	8,001	その他	41,220
固定資産	702,215	固定負債	400,448
鉄軌道事業固定資産	386,897	社債	115,000
開発事業固定資産	148,219	長期借入金	206,127
各事業関連固定資産	5,719	再評価に係る繰延税金負債	57,183
建設仮勘定	14,273	その他	22,137
投資その他の資産	147,105	負債合計	534,523
関係会社株式	96,050	(純資産の部)	
投資有価証券	48,173	株主資本	116,035
その他	2,882	資本金	85,135
		資本剰余金	17,623
		利益剰余金	13,366
		自己株式	△ 90
		評価・換算差額等	75,761
		その他有価証券評価差額金	11,545
		土地再評価差額金	64,216
		純資産合計	191,797
資産合計	726,320	負債純資産合計	726,320

損益計算書の要旨

(平成25年4月1日から平成26年3月31日まで) (単位：百万円)

科 目	金 額
営業収益	103,780
営業費	90,871
営業利益	12,908
営業外収益	8,131
営業外費用	6,347
経常利益	14,693
特別利益	39,191
特別損失	44,953
税引前当期純利益	8,931
法人税、住民税及び事業税	138
法人税等調整額	1,007
当期純利益	7,785

株主資本等変動計算書

(平成25年4月1日から平成26年3月31日まで)

(単位：百万円)

	株主資本								評価・換算差額等			純資産計	
	資本金	資本剰余金			利益剰余金			自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	土地再評価差額金		評価・換算差額等合計
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計	利益準備金	その他利益剰余金	利益剰余金合計						
当期首残高	84,185	16,673	-	16,673	2,188	8,422	10,611	△ 739	110,731	8,712	60,368	69,081	179,812
当期変動額													
新株の発行	950	950		950					1,900				1,900
剰余金の配当					263	△ 2,901	△ 2,637		△ 2,637				△ 2,637
当期純利益						7,785	7,785		7,785				7,785
自己株式の取得								△ 46	△ 46				△ 46
自己株式の処分			△ 154	△ 154				695	540				540
土地再評価差額金の取崩						△ 2,237	△ 2,237		△ 2,237				△ 2,237
その他資本剰余金の負の残高の振替			154	154		△ 154	△ 154		-				-
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)										2,832	3,848	6,680	6,680
当期変動額合計	950	950	-	950	263	2,491	2,755	648	5,304	2,832	3,848	6,680	11,984
当期末残高	85,135	17,623	-	17,623	2,452	10,914	13,366	△ 90	116,035	11,545	64,216	75,761	191,797

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

会社情報

(平成26年3月31日現在)

会社概要

設立年月日	大正10年6月13日
本店所在地	名古屋市市中区名駅一丁目2番4号
資本金	85,135,525,064円
発行済株式総数	889,339,924株
株主数	87,568名
事業内容	鉄軌道事業、開発事業
従業員数	4,973名
ホームページアドレス	http://top.meitetsu.co.jp/

役員

河野英雄	代表取締役会長
山本亜土	代表取締役社長
松林孝美	代表取締役副社長
安藤隆司	代表取締役専務
大西哲郎	代表取締役専務
内田 互	常務取締役
高木英樹	常務取締役
柴田 浩	常務取締役
拝郷寿夫	取締役
岩瀬正明	取締役
高田恭介	取締役
高崎裕樹	取締役
鈴木清美	取締役
舟橋雅也	取締役
岡部 弘	社外取締役
河原英穂	常任監査役(常勤)
小笠原敏彦	常任監査役(常勤)
岡谷篤一	社外監査役
川口文夫	社外監査役
佐々和夫	社外監査役

株主メモ

事業年度

4月1日から翌年3月31日まで

剰余金の配当の基準日

期末配当の基準日は毎年3月31日です。また、中間配当を行う場合は、毎年9月30日を基準日とします。

定時株主総会の基準日

定時株主総会の議決権の基準日は、毎年3月31日です。

公告方法

電子公告により行います。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、中日新聞に掲載して行います。

* 電子公告掲載ホームページアドレス

<http://www.meitetsu.co.jp/profile/ir/notice/>

株主名簿管理人

三井住友信託銀行株式会社

郵便物送付先・電話照会先

〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号

三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

電話 ☎0120-782-031

(受付時間：平日9:00～17:00)

住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。

なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設された株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

未払配当金の支払について

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

「配当金計算書」について

配当金支払いの際に送付している「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。確定申告を行う際は、その添付資料としてご使用いただくことができます。

なお、配当金領収証にて配当金をお受け取りの株主様につきましても、配当金支払いの都度「配当金計算書」を同封させていただいております。

確定申告をされる株主様は、大切に保管ください。

株主ご優待制度のご案内



当社の株主ご優待制度には、3,000株以上の株主様に、ご所有株数に応じて半年毎に贈呈する株主優待乗車証と、1,000株以上の株主様に、年1回一律で贈呈する株主ご優待券があります。

1 株主優待乗車証 優待基準



権利確定日	贈呈時期	有効期限
3月31日	6月上旬	12月15日
9月30日	12月上旬	翌年6月15日

ご所有株数	株主優待乗車証の種類	贈呈枚数(半年)
3,000株以上 5,000株未満	電車線片道乗車証〔普通乗車券方式〕 ・名鉄電車線で、1枚につき1名様1回限りご利用いただけます。 ・詳細は当社ホームページをご覧ください。	2枚
5,000株以上 10,000株未満		6枚
10,000株以上 15,000株未満		12枚
15,000株以上 20,000株未満		18枚
20,000株以上 25,000株未満		24枚
25,000株以上 30,000株未満		30枚
30,000株以上 35,000株未満		36枚
35,000株以上 40,000株未満		42枚
40,000株以上 100,000株未満	電車・名鉄バス全線乗車証〔バス券方式〕 ・ご持参の1名様にご利用いただけます。 ・名鉄バス株のバス路線には、高速バス路線など乗車にできない路線があります。 ・各自治体のコミュニティバス路線などには、ご乗車にできません。 ・ご希望の株主様は、ICカード乗車券「manaca」への移し替えが可能です。 ・詳細は当社ホームページをご覧ください。	1枚
100,000株以上 500,000株未満		2枚
500,000株以上 1,000,000株未満		5枚
1,000,000株以上		10枚

2 株主ご優待券 優待基準



権利確定日	贈呈時期	有効期限
3月31日	6月下旬	翌年6月30日

ご所有株数	株主ご優待券の内容	贈呈枚数(年)	株主ご優待券の内容	贈呈枚数(年)
1,000株以上一律	電車線株主招待乗車証	4枚	名鉄百貨店 買物優待券：10%割引	18枚
	リトルワールド、日本モンキーパーク(遊園地部分のみ)、南知多ビーチランド&南知多おもちゃ王国共通 入場招待券	6枚	名鉄グループホテル・旅館〔宿泊料金〕優待割引券：20~30%割引※② 名鉄グループホテル〔飲食代金〕優待割引券：10%割引※②	4枚 4枚
	明治村入村料 優待割引券：大人・シニア・大学生・高校生を一律850円に割引※①	2枚	名鉄観光サービス募集型企画旅行商品 優待割引券：5~6%割引※①	2枚
	熱田の森文化センター入会金 優待割引券：50%割引※①	1枚	名鉄観光バス募集型企画旅行商品 優待割引券：5%割引	2枚
	二見シーパラダイス入館料 優待割引券：50%割引※①	2枚	名鉄自動車整備 車検・定期点検整備料金 優待割引券：工賃10%、部材5%割引	2枚
	クアハウス長島入泉料 優待割引券：大人450円、小学生以下250円に割引※①	2枚	ニッポンレンタカー名鉄 レンタカー料金 優待割引券：30%割引	2枚

※①は1枚につき2名様まで、※②は1枚につき4名様までご利用いただけます。詳細は当社ホームページをご覧ください。

上場株式等の配当所得に係る軽減税率(10%)の廃止について

上場株式等の配当所得に係る10%軽減税率(所得税7%、住民税3%)が廃止され、平成26年1月1日から、税率が20%(所得税15%、住民税5%)に引き上げられました。また、平成25年1月1日から、源泉所得税を徴収する際には復興特別所得税(所得税額に対して2.1%)が併せて徴収されています。

名古屋鉄道株式会社 総務部
〒450-8501 名古屋市中村区名駅一丁目2番4号

環境に配慮した植物油インキを使用しています。

